

高砂市狭あい道路整備計画(第2期計画)

高砂市

平成31年4月

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

平成31年01月21日

計画の名称	高砂市狭あい道路整備計画（第2期計画）												
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	高砂市												
計画の目標	建築基準法第42条第2項道路に指定されている市道（以下「狭あい道路」という）を対象として、後退道路用地の拡幅工事を行い、良好な住環境の確保と都市機能の向上を図り、安全で安心できるまちづくりを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	42	A	42	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H31当初)	中間目標値	最終目標値 (H35末)
1	「高砂市狭あい道路拡幅整備促進計画」に基づく、狭あい道路拡幅の達成割合 (「高砂市狭あい道路拡幅整備促進計画」の達成割合) = (拡幅整備実績延長) / (「高砂市狭あい道路拡幅整備促進計画」延長) (%)	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H31	R02	R03	R04	R05			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	高砂市	直接	高砂市	-	-	狭あい道路整備等促進事業	狭あい道路拡幅整備(市内全域)	高砂市						42	-	-
												小計						42	
											合計						42		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31	R02	R03	R04	
配分額 (a)	3	3	4	3	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	3	3	4	3	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	
支払済額 (e)	3	3	3	3	
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	0	
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	1	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	25	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由			年度内に執行予定であった 工事が延期になったため。		

(参考資料3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	1 高砂市狭あい道路整備計画 (第2期計画)	交付対象	高砂市
計画の期間	平成31年度 ~ 平成35年度 (5年間)		

位置図

高砂市

事業対象

市内全域の市道のうち建築基準法第42条第2項道路



事前評価チェックシート

計画の名称： 高砂市狭あい道路整備計画（第2期計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。（良好な住環境の整備、防災機能の向上）	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
III. 計画の実現可能性 事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	○